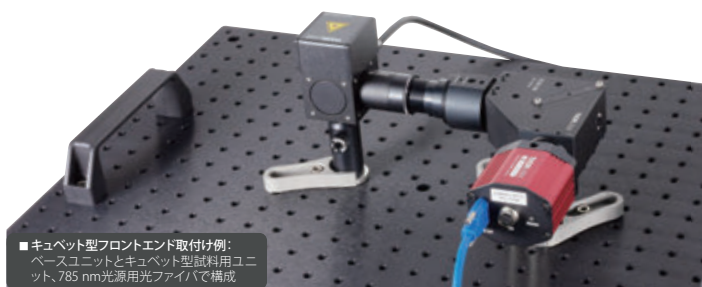
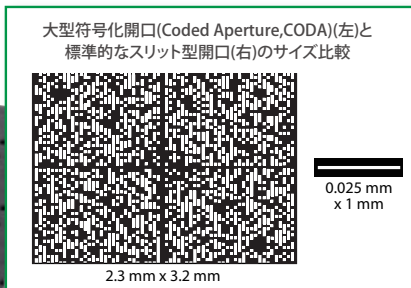


大型符号化開口(CODA)利用ラマン分光キット モジュール式



■キューベット型フロントエンド取付け例:
ベースユニットとキューベット型試料用ユニ
ット、785 nm光源用ファイバで構成



大型符号化開口(Coded Aperture, CODA)(左)と
標準的なスリット型開口(右)のサイズ比較

2.3 mm x 3.2 mm

0.025 mm
x 1 mm

ラマン分光システム用のモジュール式分光器ベースユニット、試料用ユニットを新たにリリース。既存のレーザー光源と組合わせてラマン分光システムを構築いただけます。分光器は一般的なスリットではなく大型符号化開口(Coded Aperture, CODA)を使用。低パワー照射で高SNを実現します。

特長

- ▶ ベースユニットにはCMOSモノクロカメラが付属、試料用ユニットは粉末・固体用と液体用の2タイプをご用意。
- ▶ 大型符号化開口(CODA)で、広い試料面からの信号を一括取得
- ▶ 試料面への低い照射光パワー密度で測定、低ダメージ高SNを実現
- ▶ 励起波長785 nm、検出波長域815 nm~915 nmに対応

ラマン分光器ベースユニット

ベースユニット RSB1/M



キット内容:
CMOSモノクロカメラ、ブレッドボード、取付アクセサリ、ソフトウェア用USBメモリなど

試料用ユニット(フロントエンド)

反射測定タイプ RSBR1/M

粉末・固体用



キット内容:
サンプル用ステージ、取付アクセサリ、校正用試料、迷光カバーなど

キューベット測定タイプ RSBC1/M

液体用(透明・半透明)



キット内容:
蛍光観測用マクロ溶融石英キューベット、取付アクセサリ、校正用試料など

ラマン分光システム用推奨レーザー: 励起光源は、弊社のVHG安定化レーザー FPV785M、または同等の仕様を満たす光源のご使用をお勧めします。詳しくは弊社ウェブサイトをご覧ください。弊社までお問い合わせください。



■ 本製品関連 ウェブセミナー公開中

『大型符号化開口を使用した広視野のラマン分光法』

セミナーは左のQRコードからもご確認いただけます。是非ご視聴ください。

光学技術の基礎から応用まで
www.thorlabs.co.jp/webinars

www.thorlabs.co.jp

E-mail: sales@thorlabs.jp

THORLABS

ソーラボジャパン株式会社

〒179-0081 東京都練馬区北町3-6-3 TEL: 03-6915-7701 FAX: 03-6915-7716